

三郷市立新和小学校

低学年部会

主題名 あやまるときはゆう気があるね

【内容項目 A 善悪の判断、自律、自由と責任】

教材名 「七色のクジャク」(彩の国の道徳「きょうもげんきに」)



アンケートを生かし課題意識をもたせる



主体的に考えさせる役割演技



自分自身と重ねて考えるふり返り



道徳的価値を深める校長の説話

1 授業者から（「私の授業の観てほしいポイント」の説明、授業についての感想等）

【私の授業の観てほしいポイント】

- ①動作化・役割演技など表現活動の工夫について
- ②発問の工夫について

【授業についての感想等】

- 教師側からイライラする気持ちを出してしまった。
- 青いハートからのひっぱり方が難しかった。
- 時間の使い方・発問についてが自らの課題である。



2 各グループからの発表（ワークショップ型分科会）

【①のポイントについて】

- 全員が授業に主体的に参加できてよかった。
- 盛りだくさんだったので、目的をはっきりさせて、効果的なものを選んではどうであったか。
- ワークシートに心情円を描かせると、後で評価にも使えるのではないか。

【②のポイントについて】

- 課題はどうであったか。例えば、「弱い心に負けないようにするためにはどうしたらいいか」などはどうか。
- 相手の立場をふまえた所々の押さえがあるとよかった。
- 課題に対してのまとめが対になるとよかったのでは。



3 指導講評

- 低学年は初めての道徳となる。どんな価値があるか知らせる、感じる心を育てることが大切である。
- 低学年はボキャブラリーが乏しい、これを補い、説明してあげることが必要である。
- 道徳的価値の「よさ」をいかに心におとせるかが大切である。社会生活・将来はその「よさ」の中から選択する。子供のうちに、一つ一つの「よさ」を引き出しに確実に入れたい。
- 中心発問はこちらから準備しておくべきである。意図的指名で変容を見たい。
- 低学年のうちに、他者の考えをたくさん聞かせたい。
- 「心情円」は要所で使うとよい。「心メーター」などの子供の言葉でネーミングをしてもよい。
- 子供と一緒に道徳の授業をつくってほしい。

